

<使用楽器について>

○アイリッシュ・ハープ (ケルティック・ハープ)

弦楽器の一種で、オーケストラなどで使用される「ペダルハープ (グランドハープ)」の起源となる楽器。木製の枠に複数の弦が張られており、弦を指先で弾いて発音する。

○ハンマーダルシマー

打弦楽器。起源はペルシャ・中東など諸説あるが、現在世界中で広く使用されている。台形の木枠に複数の金属弦が張られており、2本のハンマーで叩いて発音する。「ピアノの祖先」とも言われている。

○トラヴェルソ

木製の横笛。「フラウト・トラヴェルソ」とも呼ばれる。現代広く使用されているモダン・フルート (金属製) の前身となった古楽器。構造はシンプルで、木製の管に6～7の穴が開けてあり、指で塞いで音程を変える。1～数個の補助キーが設けられているものもある。

○アイリッシュ・フルート

木製の横笛。トラヴェルソが生き残り進化したものと言われており、構造はトラヴェルソによく似ている。アイルランド音楽で頻繁に使用されている。

○主な打楽器

ボンゴ …… キューバ発祥の打楽器。口径の異なる2つの片面太鼓を繋ぎ合わせてある。ラテン音楽を中心に、頻繁に使用されている。

カホン …… ペルー発祥の箱型の打楽器。フラメンコでは、重要な伴奏楽器とされている。